

〔秘書広報室〕行政経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

[illegible]

令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	総務部 秘書広報室	予算科目 款-項-目（事業）	02-01-02 (03)
事業名	秘書事務事業		

■基礎情報

目的	町長及び副町長のスケジュール管理 町長交際費の適切な執行 町長・副町長に関わる対外的事業への対応	
事務内容	・町長・副町長の日程調整及び管理事務 ・交際費 及び 慶弔事務 ・町長公文書・資料管理及び情報収集 ・来客・来賓応接 ・挨拶・礼状等の作成	・電報等、渉外事務 ・町長の資産公開事務 ・県郡町村会事務 ・後援名義使用許可申請に関する事務
現在における経過又は課題	○ 町長が出席する各種会議・行事等について、内容の確認、及び、スケジュールの調整。 ・ 副町長が不在となっていることから、町長に過度な負担がかからないよう出張や会議等への出席依頼等については、関係部署の部課長に内容を確認し、代理での出席等についてなど対応を調整する。 ○ 町長交際費について、適正な執行に努める。 ・ 最近の弔慰関係については家族葬が多くなり、弔問や香典辞退など、これまでと対応が変わってきている。 ご親族の意向に十分配慮し、適切な対応に努める。 ・ 各種分野で活躍する児童・生徒を始め、本町に関わりのある方々からの表敬訪問を受けることが多くなった。 大会等によるものについては、開催内容を確認するとともに、訪問を受ける際には、激励や お祝いなど、来庁者の年齢等に応じた相応の対応をする。 ○ 「大口町後援名義使用許可申請」については、毎年、申請される事業の他に、多種多様な事業について 申請が出されるようになり、事業の確認に時間を要することがある。	

令和5年度の 目標又は 改善策	○ 町長への出席等依頼については、これまでと同様に、町長の出席を要するもの、或いは、町長以外でお願いができるものを担当部局に聞き取り、適切な対応とスケジュール管理に努める。 出席される会議等については、開催内容や出席者の状況、開催に要する時間など詳細を事前に確認し町長に伝える。 ○ 交際費については、過大な対応とならないよう努める。 また、スポーツの活躍などで 訪問いただいた方については、引き続き活躍を見守り、繋がりをもっていく。 弔慰に関するものについては、ご遺族等の想いに沿った対応となるよう、細心の配慮に努める。 ○ 新規の後援名義使用許可申請については、事業目的や対象者、事業効果など、申請者への聞き取りや、ホームページ等で 十分な内容確認に努める。 また、事業実施後に提出を要する「実績報告書」の提出が遅れるところもあるため、実施期日を確認し、速やかな提出を求める。

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 6 章	持続可能な地域経営				
		基本政策	第 2 節	行財政経営				
成果指標								
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	

■3年間の目標

目標	・ 町長のスケジュール調整には、細心の注意を払い管理する。 ・ 町長交際費については、「大口町長交際費の支出基準及び公表に関する規定」に基づき、適切な対応に努める。 ・ 大口町後援名義使用許可申請については、申請者、事業内容等、慎重に審査をし、また、許可とした場合は、事業実施後に 実績報告書の速やかな提出を求める。					
項 目（単位）		R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	・ 町長のスケジュール調整には、細心の注意を払い管理する。 ・ 町長交際費については、「大口町長交際費の支出基準及び公表に関する規定」により、適切な対応に務める。 ・ 大口町後援名義使用許可申請については要綱にそって慎重に審査し、事業実施後には実績報告書の速やかな提出を求め、実施状況を確認する。
R7 年度	・ 町長のスケジュール調整には、細心の注意を払い管理する。 ・ 町長交際費については、「大口町長交際費の支出基準及び公表に関する規定」により、適切な対応に務める。 ・ 大口町後援名義使用許可申請については要綱にそって慎重に審査し、事業実施後には実績報告書の速やかな提出を求め、実施状況を確認する。

■ 作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
	○ 各月 ・ 月末 - 翌月の町長スケジュール確認、公用車の予約手配 ・ 15日前後 - 翌月の町長交際費の支出予定の確認及び伝票処理 ・ 月始め - 前月の町長交際費の支出内容・支出額の確認及び伝票処理 - ホームページ更新事務 ○ 4～5月 - 町長資産公開事務 ○ 随時 - 来客対応等、スケジュールの調整 - 交際費対応 - 後援名義許可申請 ・ 政策要望・アンケート等 への対応 - 公職者名簿の管理 - 電報等、渉外事務 - 一部事務組合との関係事務 - 愛知県町村会及び、丹羽郡町村会関係 事務

■目標又は改善策に対する取組内容

- 新型コロナウイルス感染症の感染法上における分類が、「２類」から「５類」に引き下げられたことにより、会議等への出席依頼が若干増加したが、あらためて、出席の目的や意義を担当部局等と再確認し、出席会議等の取捨選択を行った。
- 交際費の支出については、原則、基準表に基づき執行した。基準表の対象外のケースについては、その目的を吟味し、適正な執行に努めた。
- 後援名義使用許可申請に対しては、過去に許可実績のある事業については速やかに許可書の発行事務を進めた。一方で、新規申請については、その内容を慎重に審査し、許可の可否を決定した。また、前年度に許可した事業について実績報告書が未提出な場合は、申請者に対して提出を催促した。

■評価

- コロナ禍を契機に、書面会議等への会議形式の変更や出席者の見直し、イベント等においても開催方法や出席者の見直し等が行われ、その内容をコロナ禍後も踏襲できるものは踏襲していただくことで、無理のないスケジュール管理ができた。
- 交際費の支出については、原則、基準表に基づき執行し、基準表の対象外のケースについても過分とならない範囲にとどめることができた。
- 後援名義使用許可申請に対しては、新規及び継続案件とも速やかな事務処理ができた。また、前年度許可事業については、全ての事業について実績報告書を提出していただくことができた。

令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	総務部 秘書広報室	予算科目 款-項-目（事業）	02-01-02 (04)
事業名	儀式・表彰事務事業		

■ 基礎情報

目的	大口町表彰条例に基づき表彰を行う。 国又は県の栄典及び、各種表彰の対象となる方を推薦する。	
事務内容	「大口町表彰式」 開催 ・ 自治功労者表彰 ・ 一般表彰 ・ 褒賞 ・ 金婚表彰	・ 叙位叙勲内申及び、受賞関係事務 ・ 各種表彰の照会・回答
現在における 経過又は課題	○ 「大口町表彰式」開催においては、毎年、7～8月に各課に対象となる方を推薦してもらい、表彰審査会・褒賞選考委員会等で協議したのち、被表彰者を決定。 推薦漏れがないか、確認が必要。 表彰式開催については、令和2年度より、新型コロナウイルス感染症発生により密集を避けるため、時間を分けて開催をしてきたが、令和5年5月8日から位置付けが「5類感染症」に変更されたことから、今年度の開催方法を以前のように戻すことも検討する。 ○ 栄典等の対象者に係る履歴のデータ管理。	

令和5年度の 目標又は 改善策	○ 表彰対象となる方の推薦忘れがないよう、各課に周知する 表彰式の開催について、新型コロナウイルス発生前の形式での開催を検討する。 時間を分けず、全ての被表彰者に一堂に会していただく。 以前、案内をしていた来賓について、今後の対応。 ○ 叙勲の潜在候補者について、議会事務局等、関係機関から資料を収集し、 データを作成・管理する。 対象者が多数であること、また、現役当時の情報が少ないため、早くから資料を 収集し調書の作成に取り掛かるようにする。
-----------------------	---

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 6 章	持続可能な地域経営				
		基本政策	第 2 節	行財政経営				
成果 指標								
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	

■3年間の目標

目 標	「大口町表彰式」における被表彰者の推薦については、各課に関わられている方や団体について常に意識して頂き、申請漏れがないよう周知する。 叙勲の潜在候補者の把握に努めるとともに、随時、調書作成を進める。					
項 目（単位）		R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	・ 本町行政に貢献いただいた方・団体等について、心から感謝の意を表ずるとして、被表彰者の推薦については、漏れのないよう各課に依頼をする。 - 表彰式の開催方法については、新型コロナの感染等の状況をみつつ、最良の形で実施をする。 ・ 叙勲候補者について、随時、早目に調書の作成に取り組む。
R7 年度	・ 本町行政に貢献いただいた方・団体等について、心から感謝の意を表ずるとして、被表彰者の推薦については、漏れのないよう各課に依頼をする。 - 表彰式の開催方法については、新型コロナ感染等の状況をみつつ、最良の形で実施をする。 ・ 叙勲潜在候補者について、随時、早目に調書の作成に取り組む。

■ 作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4 ～ 3	○ 潜在候補者の把握・調書作成 各関係機関から 資料を収集・整理
(通年)	○ 県からの 各種表彰潜在候補者 照会への回答
7 ～ 8	各課宛て、大口町表彰条例に基づく表彰候補者の照会
9	金婚表彰対象者を広報誌で募集
9 ～ 10	大口町表彰審査委員会 開催 大口町褒賞審査委員会 開催
11	『大口町表彰式』 大口町社会福祉協議会との共催により 開催

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・『大口町表彰式』における被表彰者については、行政経営会議を始め、各課宛 メール等にて、推薦に漏れがないよう依頼に努めた

町広報紙や 新聞等の掲載記事、表敬訪問者などについても再度、確認をし、対象者の確認を進めた。
- ・『表彰式』開催については、コロナ感染症が５類に移行されたことから、共催者である「大口町社会福祉協議会」と 開催会場を始め、被表彰者一同に会した進行、来賓の対応について協議を重ねた。
- ・潜在候補者について、「議会だより」他、関係機関に関連資料の提供を依頼し、調書の作成に努めた。

■評価

- 『大口町表彰式』においての 被表彰者については、各課の協力を得て、適切に推薦いただいた。

表彰式については、４年ぶりに新型コロナ発生以前の開催方法に戻し、金婚表彰者を始めとして、被表彰者全員が一同に会し、来賓の方々にもご出席いただき、大勢の方から祝福を受けての賑やかな表彰式を執り行うことができた。

一点、残念だったことは、遊覧船をご寄贈いただき、感謝状をお渡しすることとなっていた「松江市」様と、「公益財団法人 松江市観光振興公社」様が、表彰式当日、大雪のため、飛行機が欠航となり、出席いただくことができなかった。

令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	総務部 秘書広報室	予算科目 款-項-目（事業）	02-01-02(08)
事業名	広報・広聴事業		

■ 基礎情報

目的	町の行政施策や行事、行政サービスなどの情報を、分かりやすい内容で住民の方々に届けるとともに、「元気なまちおおぐち」を積極的に情報発信する。		
事務内容	・ 広報おおぐち編集及び発行 ・ まちのカレンダー編集及び発行 ・ 町ホームページ管理 ・ 広報無線配信		・ 町公式 SNS 管理 (facebook, LINE, Twitter, YouTube) ・ 動画配信事業 ・ 地域懇談会の開催 ・ 町勢要覧編集及び発行
現在における経過又は課題	・ ホームページ 新着等ではない情報で見ていただきたいページ（例：防災、コロナワクチンなど）や長期で告知したいページなどに誘導するためにトップページにアイコンやバナーが乱立し、雑然として見えてしまったり、見ていただきたいページへの誘導が難しい。 ・ 動画配信事業 NPO 法人憩いの四季にイベント等を撮影・編集いただき記録として残し、YouTube で配信しているが、閲覧数が少ない。		
令和 5 年度の目標又は改善策	・ ホームページ 他の自治体などを参考により見やすいレイアウト等を検討する。 ・ 動画配信事業 記録としての動画を過去の様子としてイベント告知等に利用し、閲覧数を増やすとともにイベント等の動員に活用する。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 6 章	持続可能な地域経営			
		基本政策	第 3 節	情報発信・共有			
成果 指標	町ホームページによる町の情報提供への満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値	R7 目標値
62.2%	64.3%	—	—	—	—	69%	70%

成果 指標	広報おおぐちを読んでいる人の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値	R7 目標値
78.6%	88.9%	—	—	—	—	90%	90%

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）		R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	町ホームページのアクセシビリティの向上 SNS での効果的な情報の配信
R7 年度	同上

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4 ～ 3	・ 広報おおぐち 毎月：編集、校正、多言語配信 ・ 広報編集委員、協働委託業者との打合せ：随時 ・ 町ホームページ管理運営：随時 ・ 動画配信：随時 ・ 町公式SNS管理：随時 ・ 広報無線：随時 ・ 地域懇談会開催：実施日 未定 ・ 動画配信に関する協働委託業者との打合せ：随時

■目標又は改善策に対する取組内容

・ ホームページ

トップページに画像スライドの機能を設け、旬の話題やお知らせしたいことを画像で分かりやすく見せることで見ていただきたいページへの誘導がよりやりやすくなった。ホームページの見栄えも良くなった。

・ 動画配信事業

イベント等を記録に残し、当日来られなかった方たちの視聴を可能にする為だけでなく、イベント開催告知ページに過去の様子として掲載することで、イベントの概要や魅力を映像でより分かりやすく発信でき、動画を有効的に活用できた。

■評価

・ ホームページ

大口町のトップページを見れば、イベント情報などがスライド画像で表示され、ひと目でわかるようになり、興味があればより詳しい情報を得られるようになった。

・ 動画配信事業

今までは、「まちの話題」ページからでないと見れなかったが、各イベント等のページにも動画リンクを配置することで、入り口が増え見やすくなった。とくに五条川桜情報のページに過去の桜のライトアップの動画リンクを貼ったところ、視聴数が増加した。